

令和3年8月6日

胴 割 米 発 生 注 意 報

福井県水田農業レベルアップ委員会

ハナエチゼンは、根の量が少なく、出穂期以降、高温が続いており、胴割米の発生が懸念される。今後は、間断通水など十分な水管理・適期収穫・丁寧な乾燥作業を徹底する。

胴割米発生防止対策について

- 1) 収穫直前まで間断通水を徹底し、早期落水は控える。
- 2) 台風等により、フェーンが発生する可能性がある場合は、深水管理を行い、フェーンが収束するまで継続する。
- 3) 籾水分25%よりやや早めに収穫を開始し、刈り遅れ防止を徹底する。
(ただし、農薬の使用基準(使用時期:収穫何日前まで)を厳守する)
- 4) 収穫後はすみやかに乾燥機に張り込む。また、高温乾燥を避け水分が18%程度となったら乾燥を一時休止し調湿させ、仕上げ乾燥を行う。
- 5) 乾燥は14.5%~15.5%を目標水分とし、こまめに穀類水分計で水分チェックを行う。
- 6) 乾燥調製後の玄米が、運搬や検査時に、直接日が当たらないよう注意する。

※籾水分の状況については、稲作情報「登熟状況調査」(火、金:週2回配信)を参考にする。

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.jp/>

※コシヒカリ等早生以降の品種についても、間断通水など十分な水管理を継続する。

令和3年度 胴割粒発生要因状況(8月6日現在)

【ハナエチゼン】

要 件		状 況	要件適合の有無
①	出穂期の根量が 平年の80%以下	74.4% (農試気象対策) 本年 58 g/m ² 平年 78 g/m ²	○
②	止葉の葉色が薄い。 (SPAD 値で36以下)	40.3 (生育基準圃平均) 8 地点中 7 地点で 基準値以上	×
③	出穂後20日間の平均気温が 28℃以上	28.7℃ (7/18~8/5 まで本年値・8/6 は平年値で算出)	○ (見込み)